



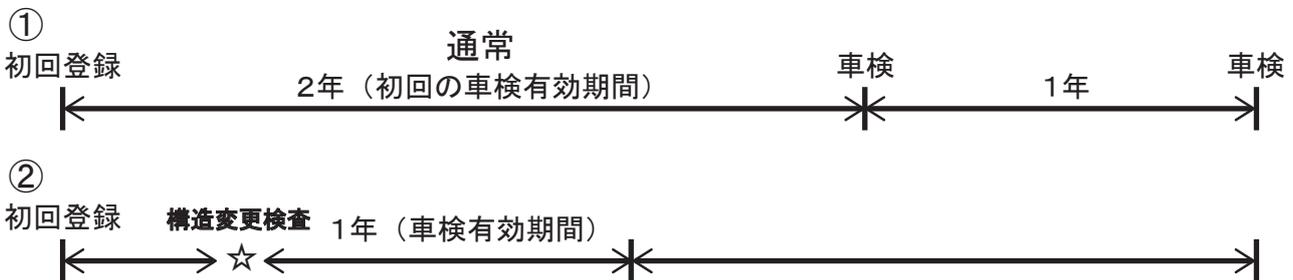
MS315-0K003 オーバーフェンダー "Xグレード"

取付・取扱要領書

この度はTRDオーバーフェンダーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は装着後に車両諸元が変更となるため、下記項目に関し、
周知徹底のうえ、確実なご対応をお願い致します。

- ①登録前装着の場合⇒持込みによる新規検査登録が必要です。
②登録後装着の場合⇒指定外部品であるため構造変更検査が必要です。
（検査後の有効期間は車検有効期間日数にかかわらず、検査日より1年となります。
なお、支払済みの自動車重量税の還付はなく、構造変更検査に新たに1年分が必要となります。）



■ ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

■ 品番・適合車種

| 品番 | 適合 | 型式 | 年式 | 備考 |
|-------------|--------|--------|---------|---------|
| MS315-0K003 | ハイラックス | GUN125 | '17.09～ | Xグレードのみ |

- ・オリジナルの全幅より38mmプラスされます。
- ・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp>

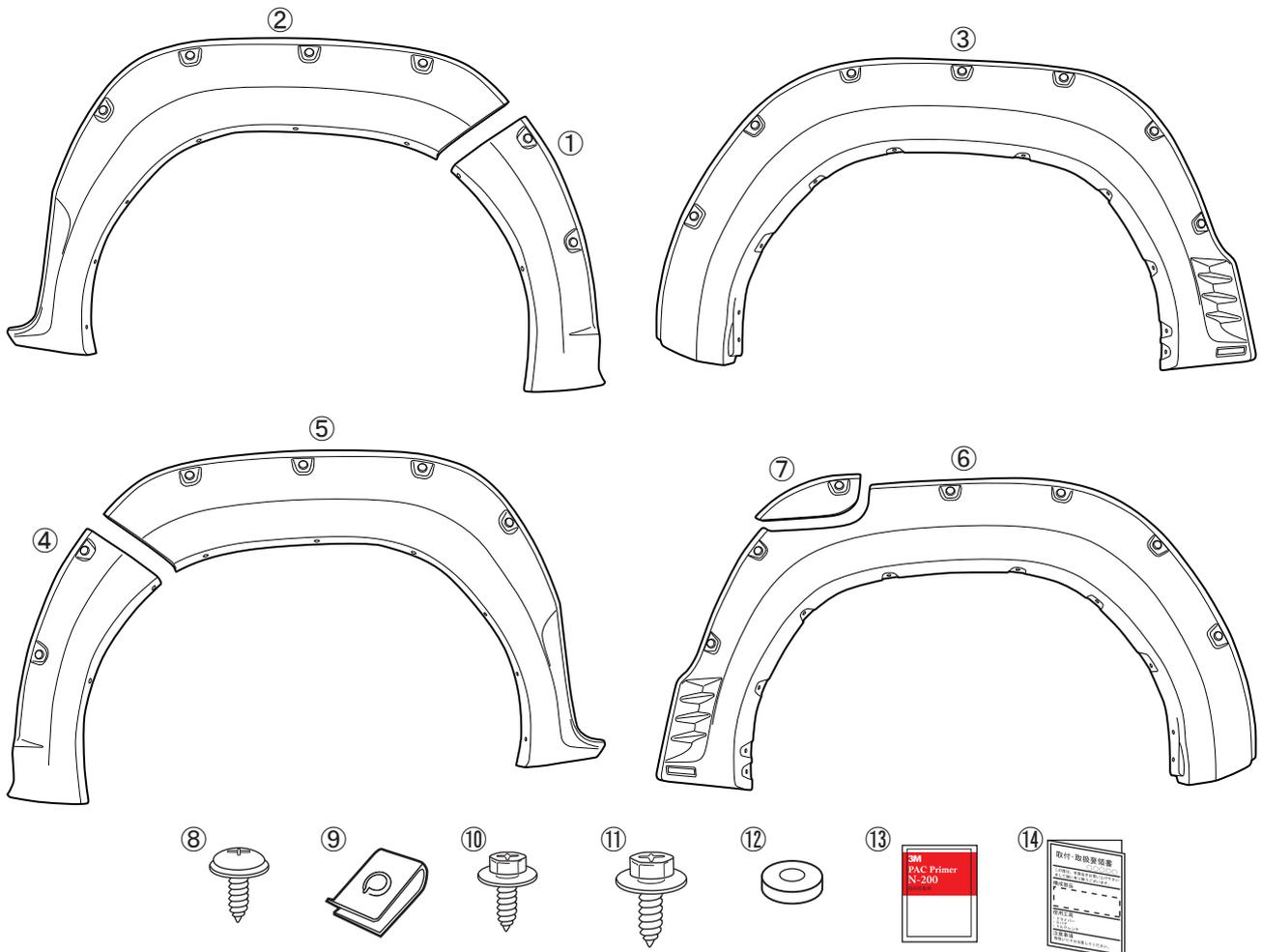
※本商品とTRD マッドフラップ (MS328-0K001/2) との同時装着は出来ません。

■ 構成部品

| No. | 品名 | 個数 | 備考 |
|-----|---------------------|----|---------|
| ① | オーバーフェンダーFR No.1 RH | 1 | |
| ② | オーバーフェンダーFR No.2 RH | 1 | |
| ③ | オーバーフェンダーRR RH | 1 | |
| ④ | オーバーフェンダーFR No.1 LH | 1 | |
| ⑤ | オーバーフェンダーFR No.2 LH | 1 | |
| ⑥ | オーバーフェンダーRR No.1 LH | 1 | |
| ⑦ | オーバーフェンダーRR No.2 LH | 1 | |
| ⑧ | タッピングスクリューA | 4 | M5 × 20 |
| ⑨ | スプリングナット | 4 | M5 |
| ⑩ | タッピングスクリューB | 6 | M6 × 20 |
| ⑪ | タッピングスクリューC | 8 | M6 × 25 |
| ⑫ | スペーサー | 4 | t3.0 |
| ⑬ | PAC プライマー | 2 | N-200 |
| ⑭ | 取付・取扱要領書 | 1 | 本書 |

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用してください。また、指定以外の溶剤は使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要項 5～12
5. 取付け完了後の点検、注意事項 12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・クリップリムーバー・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

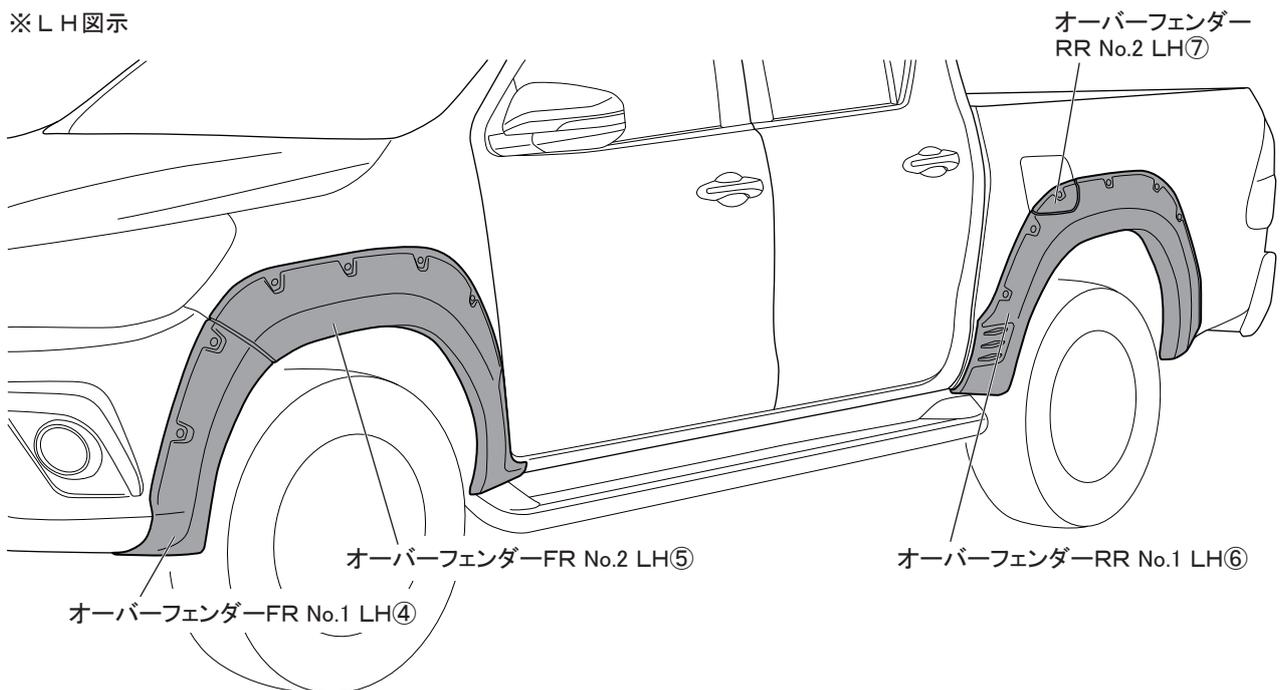
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

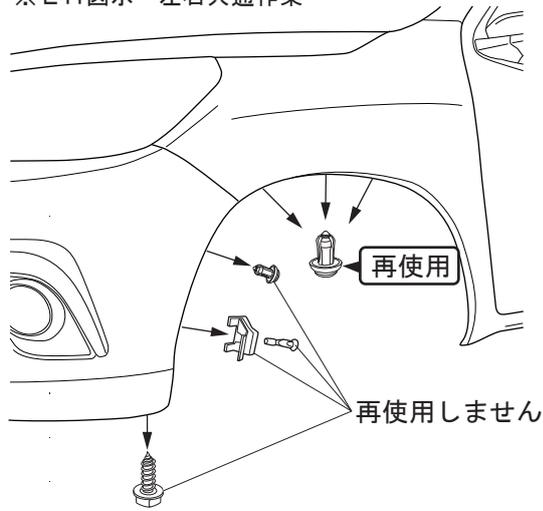
※LH図示



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

オーバーフェンダー取付準備

図1 ※LH図示 左右共通作業

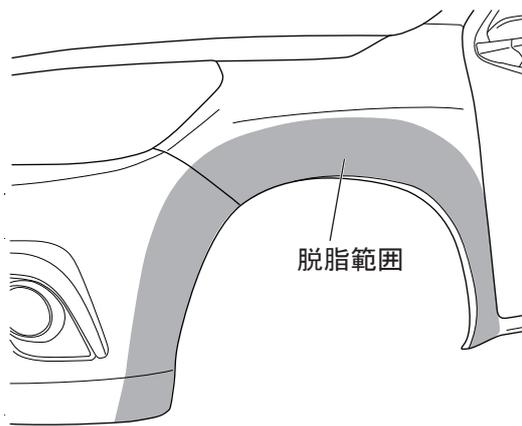


1. 図1のように該当車両の修理書に従い、フロントフェンダー車両部品のクリップ、スクリュー及び、フロントマッドガードを取外す。

△注意：取外した車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：取外したフロントマッドガードとタッピングスクリュー及び、クリップベースは再使用しません。

図2 ※LH図示 左右共通作業



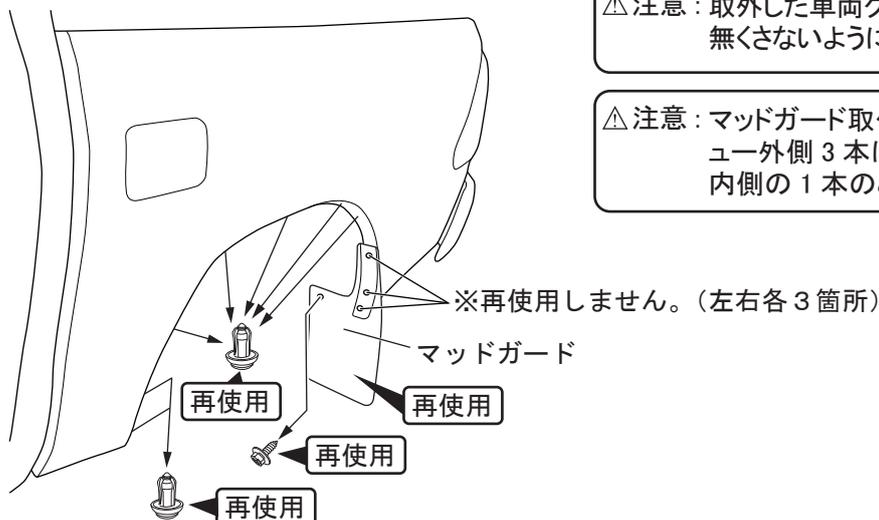
2. 図2のようにフロントフェンダーのオーバーフェンダーの両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

3. 図3のように該当車両の修理書に従い、リヤフェンダー車両部品のクリップ、スクリュー及び、リヤマッドガードを取外す。

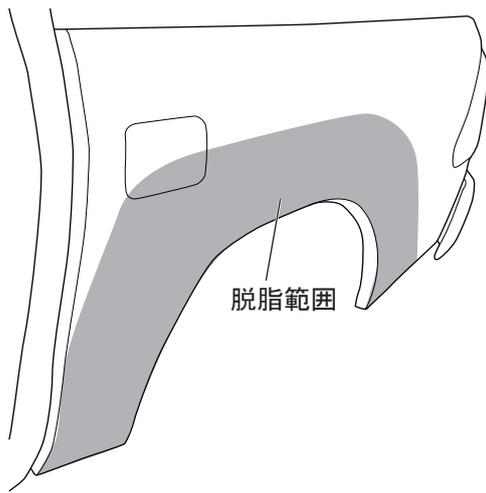
図3 ※LH図示 左右共通作業



△注意：取外した車両クリップは再使用します。無くさないように必ず保管してください。

△注意：マッドガード取付けのタッピングスクリュー外側3本は再使用しません。内側の1本のみ再使用します

図4 ※LH図示 左右共通作業



4. 図4のようにリアフェンダーのオーバーフェンダーの両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

5. 図5のようにフロントバンパー及び、フェンダーライナーにスプリングナット⑨を取付ける（左右各2箇所）

図5 ※LH図示 左右共通作業

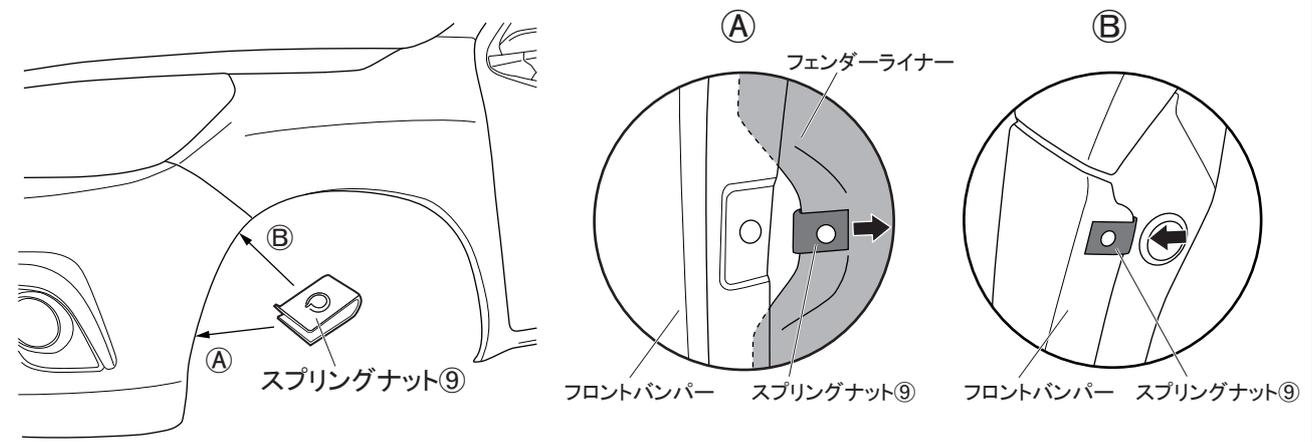
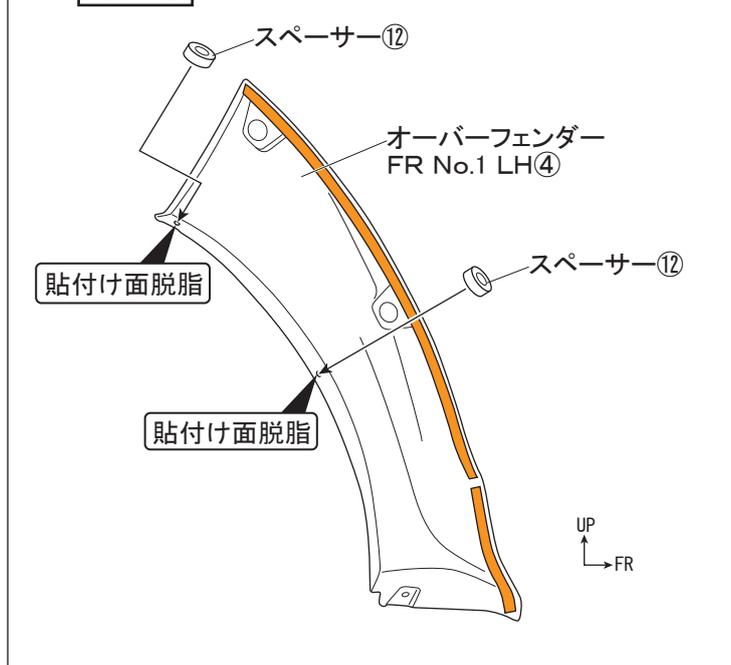


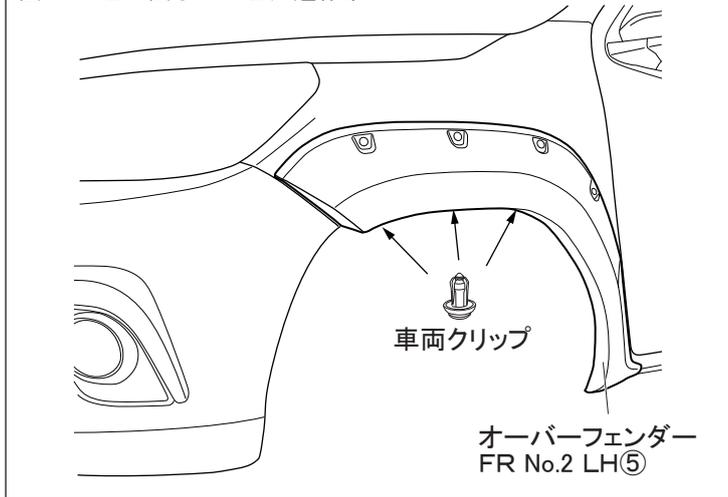
図6 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



6. 図6のようにオーバーフェンダーFR No.1④の穴位置に合わせてスペーサー⑫を貼付ける。（左右各2箇所）

※貼付け面をIPA又はホワイトガソリンで脱脂してください。

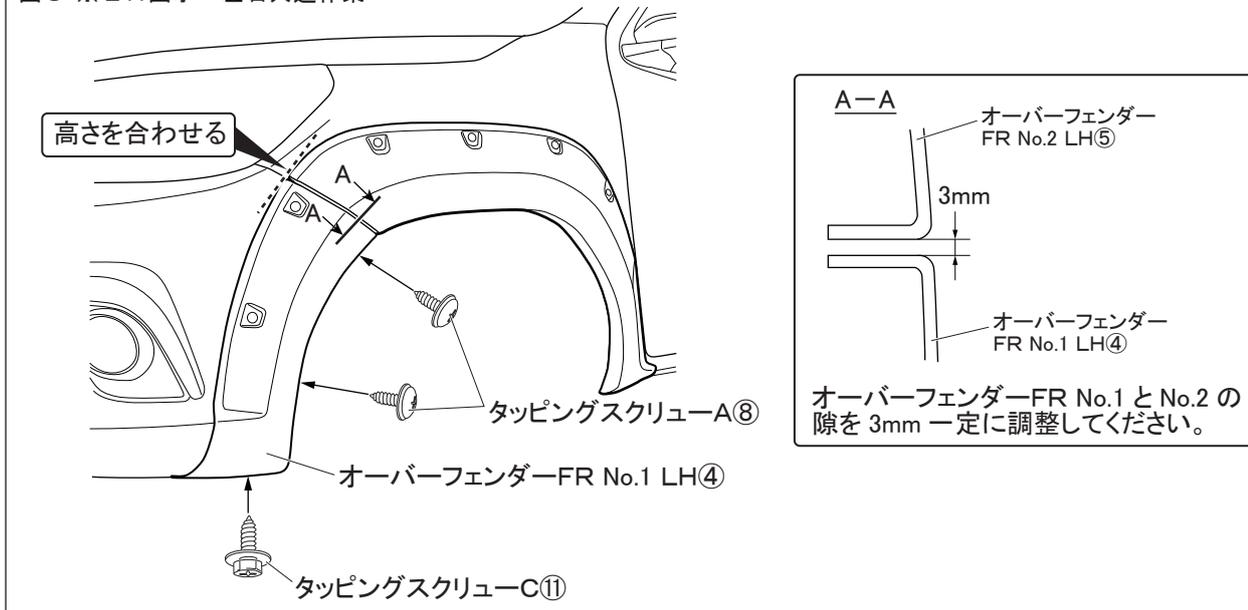
図7 ※LH図示 左右共通作業



7. 図7のようにフロントフェンダーにオーバーフェンダーFR No.2 LH⑤をあて、車両クリップを再使用して仮固定する。

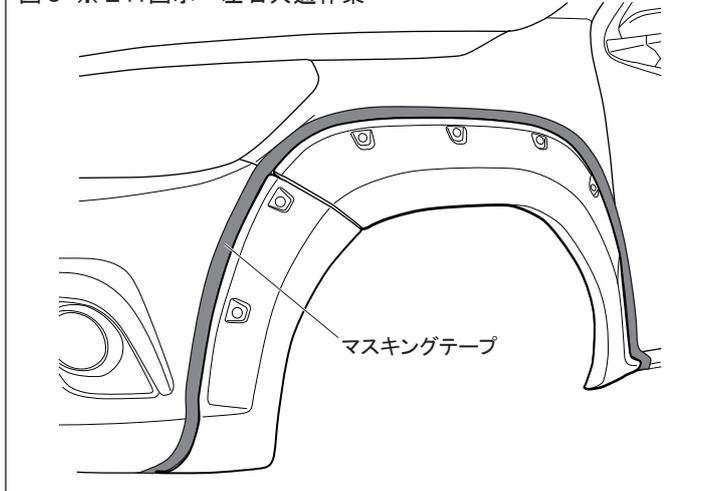
8. 図8のようにオーバーフェンダーFR No.2 LH⑤の前端部の高さに合わせてオーバーフェンダーFR No.1 LH④をフロントバンパーにあて、タッピングスクリューA⑧、タッピングスクリューC⑪で仮締めする。

図8 ※LH図示 左右共通作業



オーバーフェンダーFR No.1とNo.2の隙を3mm一定に調整してください。

図9 ※LH図示 左右共通作業

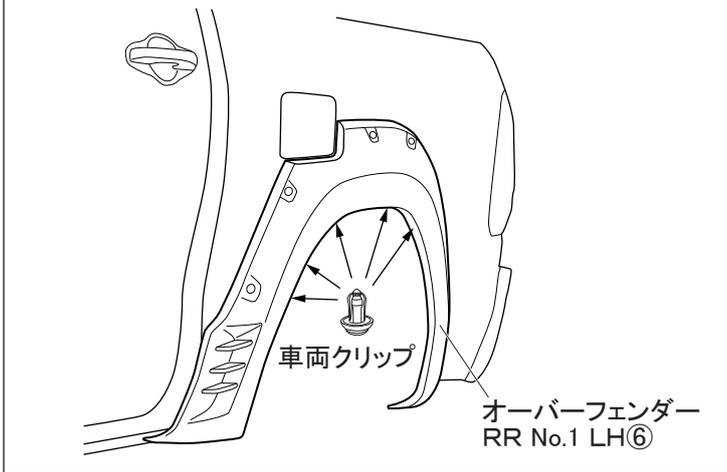


9. 図9のようにオーバーフェンダーFR No.1 LH④とオーバーフェンダーFR No.2 LH⑤のモール上端に合わせて車両にマスキングテープを貼付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

10. オーバーフェンダーFR No.1 LH④、オーバーフェンダーFR No.2 LH⑤を取外す。

図 10 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 10 のようにリヤフェンダーにオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥をあて、車両クリップを再使用して仮固定する。

12. 図 11 のようにオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥の高さに合わせてオーバーフェンダーRR No.2 LH⑦をあて、マスキングテープ等で仮固定する。

図 11 ※LH図示

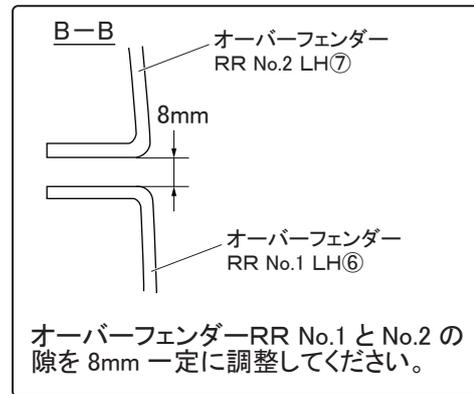
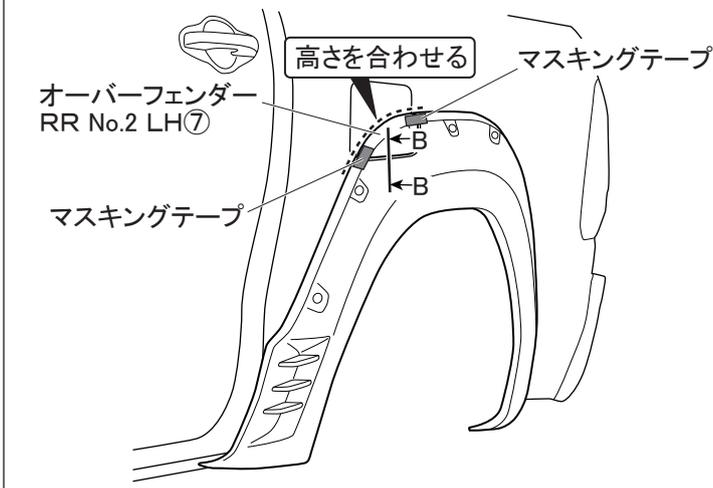
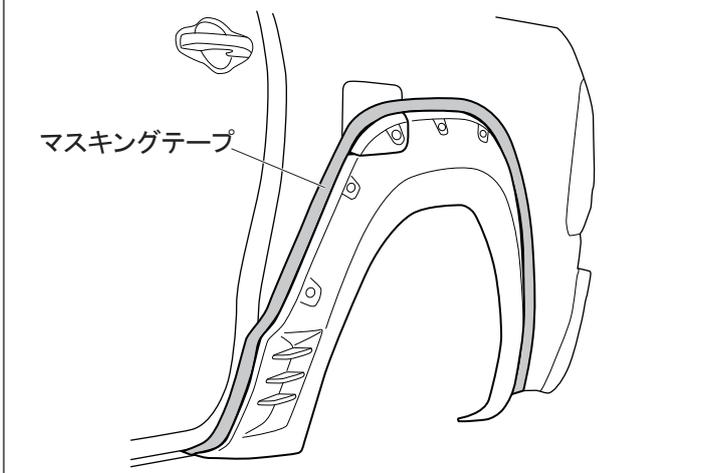


図 12 ※LH図示 左右共通作業



13. 図 12 のようにオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥、オーバーフェンダーRR No.2 LH⑦のモール上端に合わせて車両にマスキングテープを貼付ける。

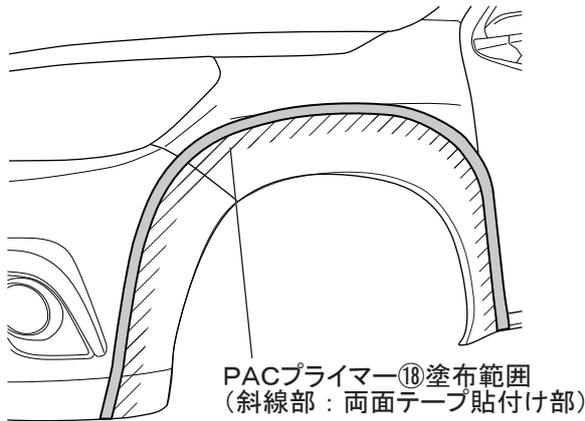
△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

14. オーバーフェンダーFR No.1 LH④、オーバーフェンダーFR No.2 LH⑤を取外す。

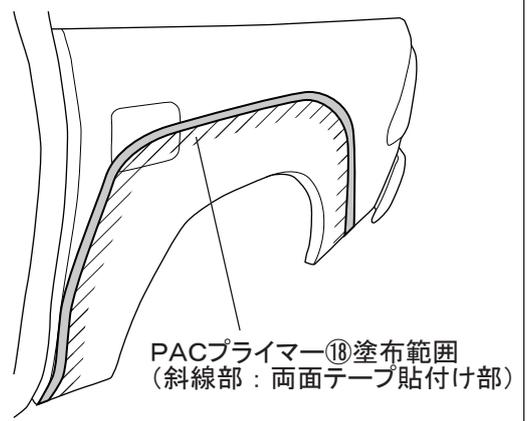
15. 図 13 のようにオーバーフェンダーの両面テープ貼付け部（左図斜線部）にPACプライマー⑩を塗布する。

図 13 ※LH図示 左右共通作業

[フロント側]



[リヤ側]

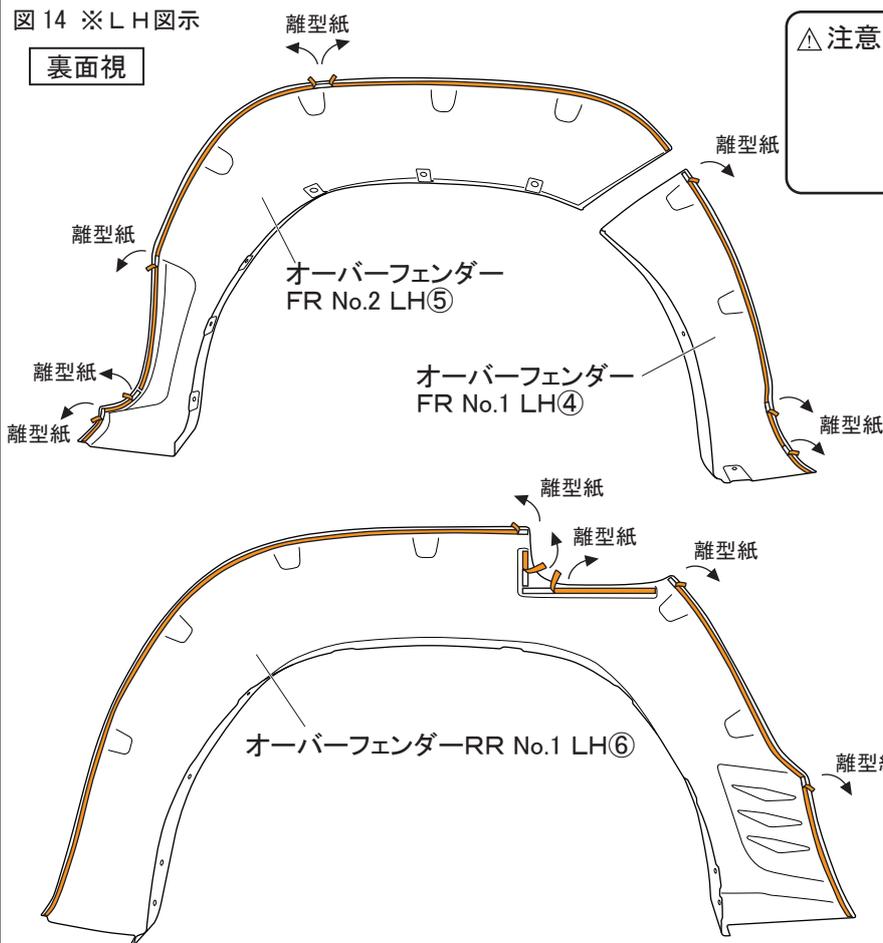


△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

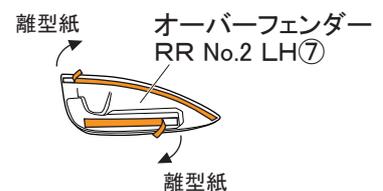
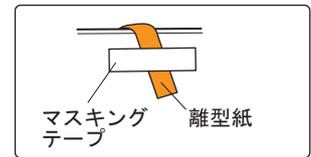
16. 図 14 のようにオーバーフェンダーの両面テープの離型紙を矢印の方向に約10mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

図 14 ※LH図示

裏面視



△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。



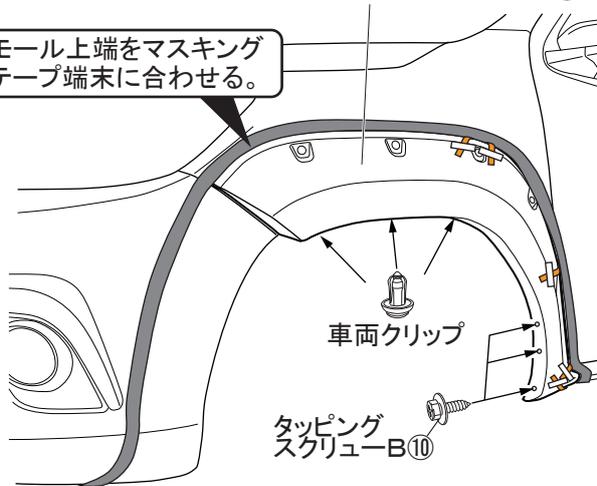
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□オーバーフェンダー取付要領

図 15 ※LH図示 左右共通作業

オーバーフェンダーFR No.2 LH⑤

モール上端をマスキングテープ端末に合わせる。



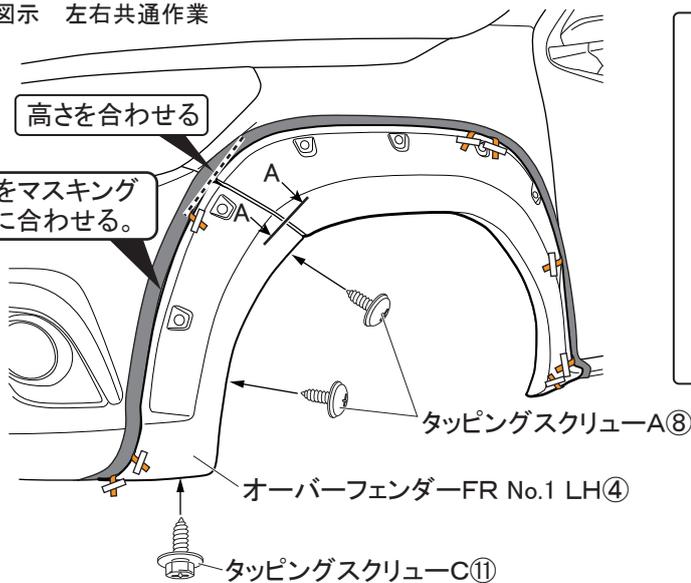
1. 図 15 のようにフロントフェンダーにオーバーフェンダーFR No.2 LH⑤をあて、タッピングスクリューB⑩を仮締めし、車両クリップを再使用して仮固定する。

2. 図 16 のようにオーバーフェンダーFR No.2 LH⑤の前端部の高さに合わせてオーバーフェンダーFR No.1 LH④をフロントバンパーにあて、タッピングスクリューA⑧、タッピングスクリューC⑪で仮締めする。

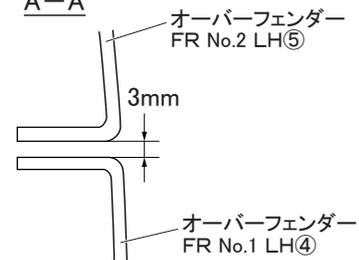
図 16 ※LH図示 左右共通作業

高さを合わせる

モール上端をマスキングテープ端末に合わせる。

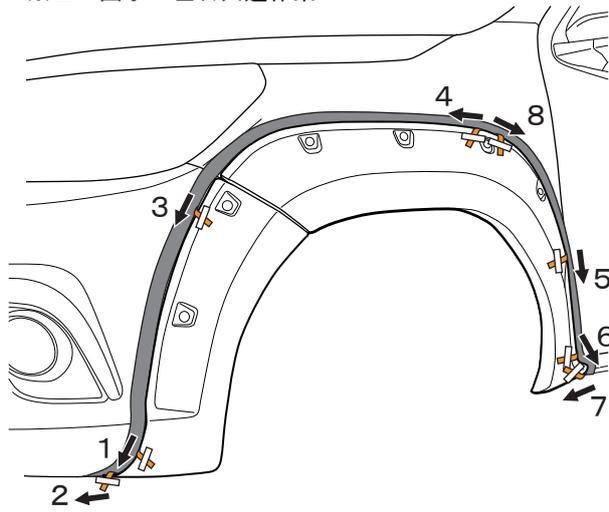


A-A



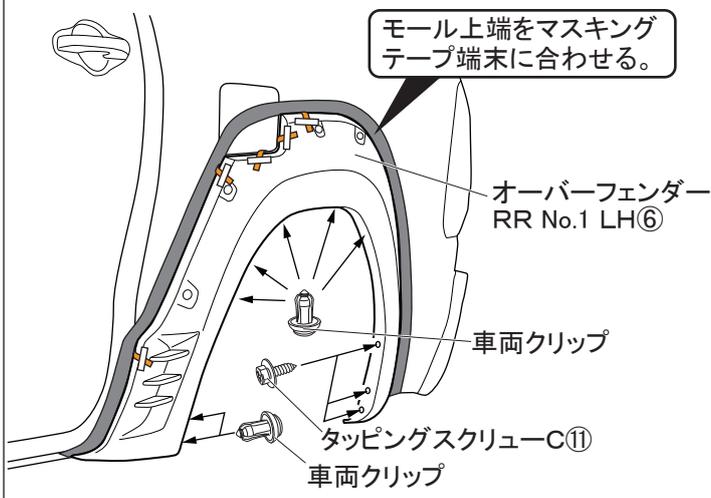
オーバーフェンダーFR No.1とNo.2の隙を3mm一定に調整してください。

図 17 ※LH図示 左右共通作業



3. 図 17 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

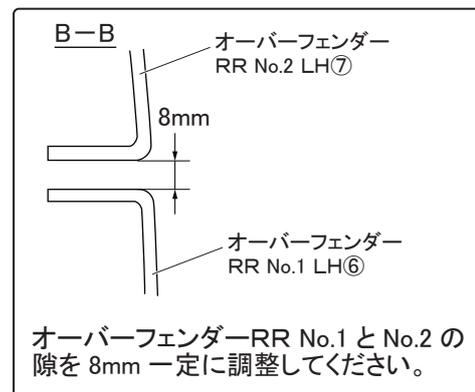
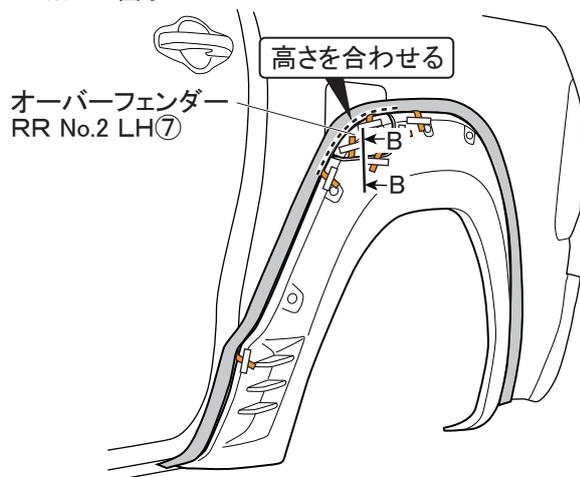
図 18 ※LH図示 左右共通作業



4. 図 18 のようにリヤフェンダーにオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥をあて、タッピングスクリューC⑪で仮締めし、車両クリップを再使用して仮固定する。

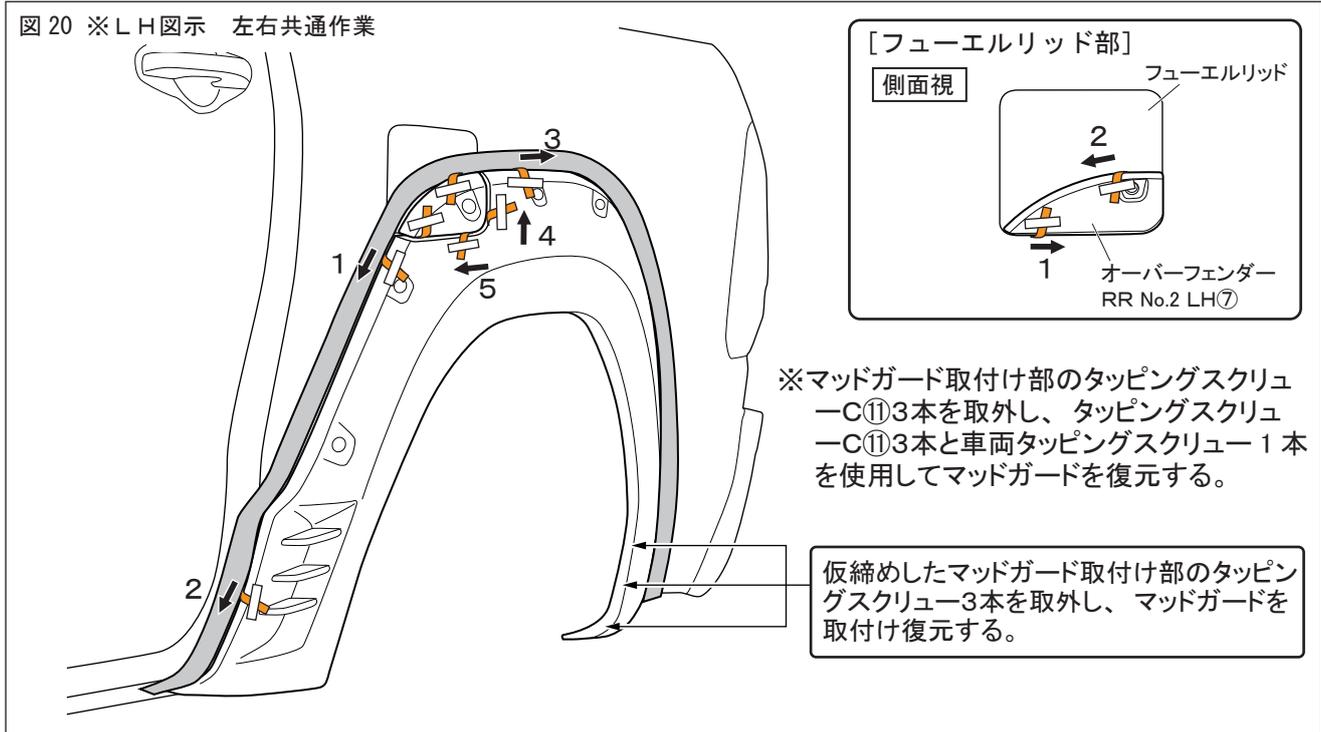
5. 図 19 のようにオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥の高さに合わせてオーバーフェンダーRR No.2 LH⑦をあて、型紙⑱を使用してオーバーフェンダーRR No.1 LH⑥とオーバーフェンダーRR No.2 LH⑦のクリアランスを調整し、取付け位置を決める。

図 19 ※LH図示



6. 図 20 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 20 ※LH図示 左右共通作業



※マッドガード取付け部のタッピングスクリー
ーC⑩3本を外し、タッピングスクリー
ーC⑩3本と車両タッピングスクリー 1 本
を使用してマッドガードを復元する。

仮締めしたマッドガード取付け部のタッピング
スクリー3本を外し、マッドガードを
取付け復元する。



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

7. 全てのオーバーフェンダーを再度圧着する。
8. 仮締めしたタッピングスクリーを本締めし、マスキングテープを全て剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びオーバーフェンダー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>